OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	意匠学会第61回大会シンポジウム　（大学×地域）×デザイン
Author(s)	川島, 洋一
Citation	デザイン理論. 2020, 75, p. 91-91
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75359
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

意匠学会第61回大会　シンポジウム

「(大学×地域)×デザイン」

司　　会：面矢　慎介　（滋賀県立大学）
コーディネーター：川島　洋一　（福井工業大学）
パネリスト：川島　洋一　（福井工業大学）
　　益岡　了　（岡山県立大学）
　　佐々木　一泰（滋賀県立大学）

シンポジウム趣旨

国公私立の設置形態を問わず，大学に地域連携が強く求められるようになってきた。少子化のため小中高の学校数や生徒数が目に見えて減少する一方で，大学はむしろ数が増えており，貴重な「若者資源」として，大学生に地域の期待が集まっている。また，かつての産学官連携は，大学の高度な専門性を生かした研究開発や自治体の委員会への人材供出が主であったが，近年は地域活性化の切り札として，広義のデザイン的手法による地域資源のブランディングやイベント開催，さらには学生が地域内で就職し定着することなど，求められる内容も多岐にわたっている。こうした期待に大学が応えるべく努力する一方で，現在の大学はさまざまな社会からの要求に疲弊しきっており，地域連携のために割ける時間とエネルギーは限られる。今回のシンポジウムでは，地域の要求に大学がいかに応えうるかの可能性を探ると同時に，地域連携におけるデザイン思考やデザイン的問題解決手法の有効性について議論を交わしたい。　（執筆者　川島洋一）